

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソベル袋井駅前			
○保護者評価実施期間	R7年 7月 21日 ～ R7年 8月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	20
○従業員評価実施期間	R7年 7月 21日 ～ R7年 8月 28日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	7年 8月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や学校を始めとする、その児童に関わる人たちと情報共有をし、包括的な支援を心掛けています。	個人情報保護の観点に留意しつつ児童の課題や良いところを共有し学校や施設で統一化した支援を行うことが出来るように心掛けています。	5領域の側面だけではなく、児童の困り感などにも着目して課題解決を児童と保護者と一緒に考え様々な活動に取り組みます。
2	SSTや手先トレーニング、体幹トレーニングなどを日々のレクに取り入れ、児童個々の目標を定めて計画を立てながら支援をしています。	SSTは自分の気持ちと相手の気持ちを知ること、正しく伝える事の大切さを集団活動を通して学んでいます。 手先トレーニングや体幹トレーニングは理学療法士が主導し各児童それぞれの特性にあったプランを組み立て、楽しく行うことを心掛けています。	児童が達成感を味わい、自己肯定感を高めることが出来るように楽しく取り組めるトレーニングを今後も追加していきます。
3	買い物体験や交通公共機関の利用など様々な地域資源を活用する経験を増やし、社会生活を送る上で求められるスキルを養えるプログラムを策定しています。	レクリエーションで「アソベル商店」と題して駄菓子屋さんを実施し、お金の計算をしながら買い物トレーニングを行っています。 公共交通期間や公共施設を利用することでルールやマナーを児童と一緒に考え実践することで社会スキルを学んでいます。	引き続き、公共施設や公共交通機関を利用するとともに、長期休みに工場見学等を通しての社会勉強を取り入れ、児童の将来につながる興味関心や知見を広げるレクリエーションを増やしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、職員室としての個室はありますが、気持ちが崩れてしまった際に安全を確保でき落ち着ける児童専用の個室が無く、崩れた際には1対1で職員室でクールダウンをしている状況です。	室内の環境レイアウトに改良の余地があると考えます。	室内環境の変更等、児童にとって落ち着ける空間を提供できるように変更します。
2	児童の将来、就労に直接つながるような支援体制が整っていません。	小学校低学年の児童が利用児童構成の8割を占めている為、中学生や高校生の利用が無いです。	まずは小学生高学年を対象にお金の勉強や施設内での就労体験レクリエーションを実施していきたいと思います。
3			